

# 1年生 租税教室

11月8日（木）、税理士の柘植麻美先生をお招きし、1年生を対象とした租税教室を行いました。事前のアンケートで生徒があげた税に関する疑問に対し丁寧な解説をしていただきました。

## ✿学習した内容✿

Q1、なぜ税金があるのですか？

A、教育や福祉、防衛などの公共サービスを運営するため。

例えば学校の校舎を1つ建てるのにおよそ10億かかる。

黒板だけでも15万、机といすのセットで4万など・・・。公共サービスには膨大なお金がかかっており、それを運営していくためには税金は不可欠である。

Q2、なぜ消費税が8%から10%にあがるのですか？

A、消費税は、物やサービス、輸入物品などにかかる税金のこと。介護や医療、年金など社会保障関係費にのみ使用されると決まっている。高齢化などにより社会保障にかかる費用は増加している。今回消費税を8%から10%にすることで、5.6兆円の増収が見込めるため、増税することになった。しかし、「軽減税率制度」というものもある。これは飲食料品や新聞などは8%のままの税率とする、という制度で、収入が少ない人の負担を少しでも軽くするために設けられている。

## ✿生徒の感想✿

・日本では約50種類もの税金があるということを知りました。租税教室を受ける前までは、税金は必要ないのではないかと考えていたのですが、暮らしやすい社会をつくっていくために、税金はとても大切なものなのだと分かりました。

・今までの授業では習っていないようなことも知ることができたのでよかったです。消費税を8%から10%にする理由や、何に使っているかなどが分かったのでよかったです。

・税についてしっかりと理解することができたと思います。今回聞いたことだけでなく、気になったことは自分で調べて、税に関する理解をしていきたいと思いました。

・税金にはたくさんの種類があり、それぞれで使い道が決まっていることが分かりました。今、税金は足りていなくて、借金を返すためにも消費税が上がるのが分かりました。

